

「熟練のものづくり技術を次世代へ！-デジタルツールを駆使した技能・技術継承-」

開催期日：2020年 2月 14日(金)

申込締切：2020年 2月 7日(金)

近年の産業界では、特に団塊世代の大量退職に伴ういわゆる「2007年問題」以降、ものづくり技能・技術継承が製造現場にとっての大きな課題であり続けています。とりわけ、熟練技術者の持つ現場のノウハウが決定的に消失することは深刻な懸念事項であり、2019年版「ものづくり基盤技術の振興施策」(ものづくり白書)においても対策が急務と、経済産業省が指摘しています。そしてこの問題は、ものづくりの根幹を支える中小企業において深刻さの度合いを増すと思われます。

そこで、このような課題解決に向けてロボットや人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)などのデジタルツールを駆使した技能・技術継承について一線で活躍されている講師を招き、講習会を開催します。技能・技術継承に関する背景から各種事例紹介、さらに実務上の注意点まで、幅広く紹介いたします。講習会後には名刺交換会や意見交換の場も用意しますので、積極的にご参加ください。

日 時：2020年2月14日(金) 10時00分～17時20分(名刺交換会17時30分～19時00分)

会 場：東京理科大学 葛飾キャンパス 講義棟6階 608教室 (東京都葛飾区新宿 6-3-1)

\* JR 常磐線・金町駅から徒歩8分 / 京成金町線・京成金町駅から徒歩10分

\* 会場 URL: <https://www.tus.ac.jp/info/access/katcamp.html>

司 会：藤本正和(青山学院大学)、高桑俊也(アマダ)、芳賀 崇(ニュースダイジェスト社)

次 第：(予 定)

時 間	題 目	内 容	講 師
10:00～10:05	挨拶		
10:05～11:05 (60分)	生産加工現場での活用を視野に入れた技能情報収集ツールの提案と開発	技能継承を支援する加工テンプレートや技能デジタイザの考え方、それに続く先進ものづくり支援システムである加工プロセスカルテの概念とその検証について、そして近年進めている技能情報収集ツールの基礎的な検討状況について紹介する。	<a href="#">理化学研究所 開拓研究本部</a> <a href="#">大森素形材工学研究室</a> 主任研究員 大森 整
11:05～11:10	休憩		
11:10～12:05 (55分)	地方中小企業がAIやIoTを活用した「工具摩耗判定システム」を開発～テクノロジーと実務上の留意点～	近年、ものづくりの現場でもデジタル化に基づく技能継承に取り組む企業が急増している。本講演では、金型メーカーである同社が開発した「工具摩耗判定システム」を事例に、AIやIoTの導入に際しての技術と実務上の留意点および、技能継承の今と展望を解説する。	(株)IBUKI 代表取締役 社長 松本 晋一
12:05～13:00	昼 食		
13:00～13:55 (55分)	スマホ世代に向けたビデオマニュアルによる技能伝承	従来型のOJTは、専門用語の理解不足や難解な表現を含む標準書の習熟不足に加え、人材不足によりOJTに時間をかけられないといった問題が潜んでいる。本講演では『スマホ世代』と呼ばれる若い世代に適した、ビデオマニュアルによるOJTの事例を紹介する。	東芝機械(株) 材料加工事業部 鋳造部 部長 小川 亮輔
13:55～14:00	休憩		
14:00～14:55 (55分)	人の価値(技)を高めるデジタル技術の開発と実装	同社は創業100年となる技術の蓄積をデジタル資産として伝承すべく、官能作業である研磨加工のロボット化を進めてきた。本講演では人の技とデジタル技術の融合を目指す「自動化」の取り組みを紹介する。	林精器製造(株) 代表取締役 社長 林 明博
14:55～15:10	休憩		
15:10～16:05 (55分)	工作機械の見える化による高精度自動研削技術	金属加工の中でμm台の高い精度を実現し、主に最終工程を担う研削加工は、従来職人の技能によりなされることが主流であった。本講演では、多彩なセンサー技術・ビッグデータ・産業ロボットなどの活用による、自動研削加工技術の最新情報を説明する。	(株)岡本工作機械製作所 技術開発本部 マーケティングチーム チーム長 西上 和宏
16:05～16:10	休憩		
16:10～17:05 (55分)	IoTを活用した次世代生産モデルの確立～ろう付け技能訓練支援システムの開発～	同社の“IoTを活用した次世代生産モデルの確立”に向けた取り組みと、その中でも特に、技能者の早期育成とグローバル同一品質の実現に向けて開発した「ろう付け技能訓練支援システム」について説明する。	ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーション センター 生産システム革新グループ チームリーダー 浜 靖典
17:05～17:20	アンケート回答時間		
17:30～19:00	名刺交換会 交流会 (参加費無料)		

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第2グループ

協賛(予定)：SME日本支部/応用物理学会/大田区産業振興協会/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/自動車技術会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/電気加工学会/砥粒加工学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本MID協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/プラスチック成形加工学会

\*協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。

定 員：60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会 員(賛助会員および協賛団体会員を含む)22,000円、学生会員2,000円、非会員36,000円、学生非会員7,000円

【会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む】 \*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。

\*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

資 料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,000円

申込方法：ホームページ([https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai\\_form.html](https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html))からお申込み下さい。

お申込みフォーム→

申 込 先：公益社団法人 精密工学会(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F, 電話 03-5226-5191, Fax03-5226-5192)

